

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の向上においては、校内研究の取組を中心に、思考力、判断力、表現力を高めるための言語活動を意識した共通実践を行った。学力向上対策評価シートのマイプランの成果を意識した取組を推進した。 ・いじめの早期発見、早期対応体制の充実を図ることができた。また、未然防止対策では、職員のローテーションによる講話やスクールカウンセラー・外部講師による講演会、さらには特別の教科道徳の授業等に全職員で取り組んだ。 ・業務改善・教職員の働き方改革の推進においては時間外勤務時間の目標は達成できたが、タイムマネジメントの意識が低かった。今年度はアイデアを共有し、タイムマネジメントを意識した業務効率化をさらに推進する。 ・個に応じた教育の充実においては、ユニバーサルデザイン教育の視点に立った教育活動を実施し、全職員で生徒が授業に集中できる環境づくりを行った。今年度も取組を充実させる。
----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 学校教育目標	ふるさと松梅を担う心身ともに調和のとれた生徒の育成
-----------------	---------------------------

3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 社会に開かれた教育課程の実現 ② 学校運協議会制度を生かした小中一貫教育の推進 ③ 安心・安全な学校づくり(集団に不適応を起こしている生徒への対応)
-------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 重点取組内容・成果指標 **中間評価** **5 最終評価**

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		
				進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師85%以上 ○3年生はSAGAテストで県平均以上、1・2年生はCRTテストで得点率が全国平均以上	・教職員間で学力向上対策シートのマイプランを共有するとともに、校内研修で取組の促進を図る。					学力向上
	○「自ら考え、学びを生かす児童生徒」を育てるための、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり	○「授業における課題に対して前向きな姿勢で考え、積極的に解決を図ったか」に肯定的な生徒80%以上 ○「それまでに学習したことを生かして、発展的な課題に取り組んだりより深く考えるように努めたりしたか」に肯定的な生徒80%以上	・「自ら考え、学びを生かす」姿の明確化。 ・スキルタイムの中で確認テストを行う。 ・わかりやすく学ぶ意欲を高める課題の設定と、学び続ける姿勢を持続させたりより深く考えさせたりするための手立ての工夫。					校内研究
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「道徳の授業で学んだことや先生方の話を聞くことにより、自分の考えを広くしたり自分を見つめ直したりすることができたか」に肯定的な生徒80%以上 ○人権についての話を聞くことで、「人権を尊重することを心がけるようになった」に肯定的な生徒80%以上	・社会科と学年が連携しながら部落問題学習を実践する。 ・ふれあい集会で、「いじめ・命・人権」に関する講話を教職員が行ったり、ローテーションによる道徳授業を行ったりする。 ・問題解決的な学習などを取り入れた「考え、議論する道徳」の実現。					人権・同和教育 道徳教育
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教職員80%以上 ○Q-Uテストで学校生活不満足群の割合が全国平均以下	・月に一度「心のアンケート」を行い、全教職員に回答する。 ・毎月「生徒指導・校内支援協議会」を開き、目指す子ども像にむかって適切な指導・支援が行われているか確認する。 ・生徒指導教育相談部会を毎週、いじめ防止対策委員会を適宜開き、情報の共有や対応を協議する。 ・保健室来室時に健康相談を行い、担任と情報を共有する。					生徒指導 教育相談
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒85%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒80%以上 ○「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」に肯定的な回答をする生徒80%以上	・各学年ごとのキャリア教育を計画・実施し、夢ノートをつなげることで、夢や目標を立てて逆向き設計の意識を育てる。 ・各行事や総合的な学習の時間の中で、目標を立て、見通しを持たせた活動を行う。学習後の振り返りとありがたうメッセージに取り組む。					キャリア教育 総合的な学習
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間420分以上の生徒80%以上 ○「スポーツの意義や大切さを理解している」に肯定的な回答をする生徒、保護者、職員ともに85%以上 ●「健康に良い食事をしている」生徒80%以上 ○食の大切さを理解し、毎日朝食を食べてくる生徒80%以上	・体力テストの結果分析から運動プログラムを立案、実践し、日ごろから運動に親しむ習慣を身につける取組を行う。 ・運動の意義や効果を理解したり、運動の楽しさを味わったりする保健体育の授業づくりを工夫する。 ・ほけんだよりや掲示物などで朝ご飯の大切さについて啓発を行う。					保健 体育
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○「タイムマネジメントを意識して業務改善に努めた」職員80%以上	・月曜日のノー部活デー、定時退勤日を助行する。 ・定期的に業務効率化についてのアイデアを共有し、意識の向上を図る。					教頭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		
				進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	
○個に応じた教育の充実	○生徒の主体的な取り組みを支援するという視点から、一人一人の教育的ニーズを把握する。	○学校生活や授業について前向きな回答をする生徒80%以上	・生徒指導・校内支援協議会で「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」、「個人カルテ」を活用して情報交換を行い、生徒理解に努める。					特別支援教育

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
-----------------------	--